

どうなるの?
保育園・幼稚園



幼保一体化は
何のため?

「子ども・子育て新システム緊急シンポジウム ——小宮山厚生労働副大臣を迎えて」

これからの保育・子育て支援を考えよう

2010.12.04(SAT)

PM2時～4時半
@お茶の水女子大学

現在、来年3月の法案提出をめざし、急ピッチで検討が進められている「子ども・子育て新システム」。

この新システムは、子どもに、保護者に、そして保育者に、何をもたらすのでしょうか。また、今の財政難の中、保育の質を担保しながら、どこまで保育・子育て支援改革を進めることができるのでしょうか。

新システムの立案をリードしている民主党の小宮山洋子厚生労働副大臣から、緊急にその政策と審議の状況をうかがう機会を得ました。そのお話を聞きながら、今後の保育・子育て支援を考える会にしたいと思います。

●登壇：厚生労働副大臣

小宮山洋子さん

プロフィール・元NHKニュース解説委員。1998年より国会議員。民主党内で、政権交代以前より、党内で子どもや男女共同参画、人権などの問題を担当。「子ども手当」制度導入を牽引。



◆司会：白梅学園大学学長

『エデュカーレ』編集長

汐見稔幸



※現在、シンポジストとして参加いただく保育関係者を調整中です。

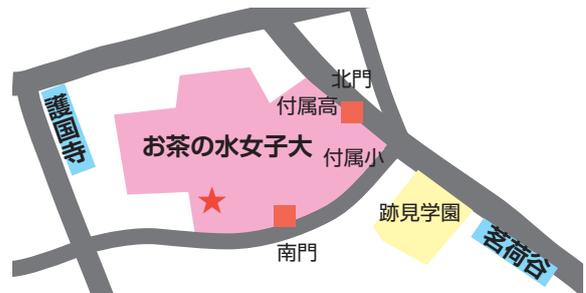
開催日時 2010年12月4日(土)

13時半受付開始、14時開演～16時半終了

参加申込 「臨床育児・保育研究会」のホームページよりお申し込みください。

会場 お茶の水女子大学共通講義棟2号館
201教室(★印) 300人定員

資料代 500円



東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅7分
東京メトロ有楽町線 護国寺駅8分



共通講義棟2号館201教室
(構内図はお茶の水女子大学HPより引用)

主催・臨床育児・保育研究会 保育者・保護者交流誌『エデュカーレ』

<http://ikuji-hoiku.net/educare/> 問い合わせ先 educare@mail.goo.ne.jp